

小野市議会だより

Ono city assembly

No.173



おりひめたまひつぼしさま
みんなのおねがいかなえてね

小野ひまわり保育所
(広渡町)

第402回 6月定例会

一般質問

- | | |
|-------------|-------------|
| たか さか じゅん こ | く こ じゅん し |
| ・高坂純子 | ・久後淳司 |
| とみ た かず や | かわ しま み な |
| ・富田和也 | ・河島三奈 |
| かわ な よし そう | こ ぼやしち づ こ |
| ・川名善三 | ・小林干津子 |
| ひら た ま み | しい や くに たか |
| ・平田真実 | ・椎屋邦隆 |
| ふじ わら あきら | かわ しま のぶ ゆき |
| ・藤原章 | ・河島信行 |

議会傍聴

6月定例会 83人
(28年度累計 85人)

6月定例会 — 主な内容 —

- こんなことが決まりました…………… 2～3
(議案・補正予算・新庁舎建設特別委員会報告)
- 一般質問の発言者…………… 4
- 一般質問の内容について…………… 5～9
- 常任委員会の審査報告等…………… 10
(常任委員会研修)
- 行政視察報告(総務文教常任委員会) 11
- 9月定例会の傍聴案内、議会の動き… 12



6月
定例会

こ
ん
な
ご
と
が
決
ま
り
ま
し
た
。

6月定例会は、5月30日から6月27日まで29日間開催しました。補正予算及び人事案件などを含む議案3件を原案のとおり、可決・同意しました。

主な議案

小野市監査委員の選任について

現監査委員 土井嘉彦氏の任期が、平成28年9月7日で満了するので、その後任として新たに藤原京子氏を選任しようとするもの

補正予算関係議案

平成28年度小野市一般会計補正予算（第1号）

補正額	110,000千円	追加
補正後総額	20,120,000千円	

平成28年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額	27,000千円	追加
補正後総額	3,795,000千円	

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算では、国県等の負担金交付金の精算還付金や介護予防・生活支援の拠点となる地域介護・福祉空間施設の整備事業、スクールソーシャルワーカー配置事業にかかる経費を措置しています。

この他に、白雲谷温泉ゆびかの昨年度黒字額の積立経費や道德教育実践研究事業経費、ひょうご学力向上推進事業、コミュニティ活動推進事業にかかる経費を措置しています。

平成28年度 一般会計6月補正予算概要

(単位：千円)

内 容	担 当 課	補正額
国県支出金等精算還付金 国・県の負担金、交付金にかかる精算還付金	財 政 課	20,000
地域介護拠点整備事業経費 訪問介護事業所等、地域密着型サービス施設整備助成	高齢介護課	29,000
地域介護・福祉空間整備事業経費 介護予防・生活支援拠点整備助成	高齢介護課	31,000
白雲谷温泉運営管理基金積立金 白雲谷温泉ゆびかの黒字決算確定に伴う基金積立	観光交流推進課	27,200
道德教育実践研究事業経費 県の推進地域指定を受けた道德教育の実践研究	学校教育課	400
ひょうご学力向上推進事業経費 学力向上実践推進委員による魅力ある授業創造研修	学校教育課	110
スクールソーシャルワーカー配置事業経費 福祉関係機関との連携、校内体制の構築支援	学校教育課	1,190
コミュニティ活動推進事業経費 地域づくり協議会の備品購入助成	いきいき社会創造課	1,100

補正総額 110,000千円

新庁舎建設特別委員会報告

新庁舎建設に関する調査・研究を行い、その建設事業に寄与することを目的として、平成28年3月市議会定例会において、本委員会が設置されました。

委員会を2回開催するとともに管外行政視察を3回実施して、「小野市新庁舎建設基本計画」の調査・研究を行い、建設基本計画の「新庁舎建設の基本方針」、「新庁舎の配置部署及び階層構成」の主に2項目に絞って先行して協議を行い、中間報告書を作成しました。

また、定例会最終日には、本委員会の所管事務調査として、中間報告を行いました。



(南あわじ市議場視察)



いまからみんなでクッキング!! 夏野菜カレーをつくるぞ!!
(小野ひまわり保育所)

(一般質問は発言した議員が編集しました)

平成28年 6月定例会

市議会ホームページ内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス：<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

高坂純子議員

- ・小野市安全安心メールについて
- ・太陽光発電事業と環境保全について

久後淳司議員

- ・農業への多面的機能支払交付金について
- ・「小野長寿の郷構想」について

富田和也議員

- ・教育監の配置について
- ・火災発生件数と救急需要の増加について
- ・「かわまちづくり事業」の取組について

河島三奈議員

- ・地域における防災力の強化について
- ・子育て支援の更なる充実について

川名善三議員

- ・食品ロス削減について
- ・新生児聴覚検査について
- ・学校検診について

小林千津子議員

- ・防災・復興の取組について
- ・介護者への支援について

平田真実議員

- ・幼稚園の魅力アップについて
- ・らんらんバス観光ルートについて

椎屋邦隆議員

- ・新庁舎建設基本計画について
- ・雨水貯留施設設置への助成について

藤原章議員

- ・住宅の耐震化について
- ・「小野長寿の郷」及び工業団地周辺の開発について
- ・光ケーブルの敷設状況について

河島信行議員

- ・更なる高齢者施策及び子育て支援策の推進について
- ・防衛施設周辺整備事業について
- ・「浄谷黒川丘陵地多目的運動広場」の整備について
- ・小野市の公共交通政策について



市民クラブ

高坂 純子 議員

小野市安全安心メールについて

質問 登録者数と成果について問う。

答弁 現在、5,130人の登録者数である。行方不明者の早期発見やメールでの事案内容の認知による不審電話事件の未然防止等に一定の成果が上がっている。
(市当局)

質問 普及活動として、公民館等への出前講座、その場での登録操作の手助けが必要と考える。また、情報だけが沢山あっても対策が分からなければ不安が起きるため、表現方法にも工夫が必要と考えるが。

答弁 先般の熊本地震以降、加入者も増えつつある。今後はその場での登録操作の手伝いも行っていく。表現方法についても改善していきたい。
(市当局)

太陽光発電と環境保全について

質問 発電施設が、市内各地に設置されている。しかし、自治会とトラブルが生じたり、20年後の不法投棄や産業廃棄物問題に不安を抱える住民もいる。市として条例の制定など対策が必要ではないか。

答弁 国家として現在のエネルギー戦略を選択した以上、そこで生じる様々な課題は国家的レベルで検討すべきであり、責任も伴う。
小野市が条例等で規制をするという事は、将来にわたって多大な費用負担が伴う危険性もあり、慎重に同等の動きを見極めるべきである。
電力の買取価格には、建設費の5%分が廃棄費用として含まれているという事実を鑑みれば、まずは、廃棄費用相当分を前受け金として保有するか、引当金として積み立てるなど、経理上の自己防衛を行う必要もあるのでは。
(市長)



市民クラブ

久後 淳司 議員

農業への多面的機能支払交付金について

質問 交付金の対象について

答弁 兵庫県では、農地・農業用水等の保全管理に向けた、地域ぐるみの共同活動を体系的に整理した活動指針を定めており、活動組織が取り組むべき活動に関する項目と、地域の実情に応じて選択的に取り組む活動項目とで構成されている。
この指針によれば、畦畔(あぜ)・農用地等の法面の草刈りなど、個々の農業者が実施する活動にも、遊休農地発生防止のための活動と計画書に位置づけ、かつ、対象組織の構成員の合意が得られれば、農地維持の共同作業として交付金の対象にできる。

また、作業の危険度や特殊性から活動組織において対応できない場合は、専門業者へ委託することも可能である。
(市当局)

「小野長寿の郷構想」について

質問 新たな構想や連携について

答弁 市が先行して行った統合病院事業や新都市中央線を貫通させることが一つの起爆剤となり、県への事業要望も継続してきた結果、ようやく事業が動きだしたと考えている。
小野長寿の郷構想エリアが、先駆的なモデル地区となることを市も期待し、議員ご提案の共生型福祉施設や新たなコミュニティレストランの整備等、高齢者の方々に活躍していただく場を整備していくことも必要だと考えるが、現在のところ新たな構想は具体化していない状況である。

県の推進方策では、社会情勢を見つつ、民間活力による整備を基本としており、全体構想の実現には時間を要するものと考えている。
(市当局)



改革クラブ
富田 和也 議員

教育監の配置について

質問 今年度から配置されたならいと権限を問う。

答弁 小中一貫教育スタート後の課題及び推進状況を監督し、学校長のマネジメントに対する支援と指導助言を行うとともに、教育長の補佐としての職務を期待している。
(教育長)

火災発生件数と救急需要の増加について

質問 今年発生した火災の要因と今後の対策、及び超高齢社会を見据えた救急需要の増加に対応する取組を問う。

答弁 6月20日から、独り暮らしの高齢者及び高齢者夫婦の約1,200世帯を消防職員が直接訪問し、火気器具等の使用状況の確認、119番通報の要領及び避難方法等の啓発をしている。

また、救急需要の増加対策として、

今年度中に救急車を1台増車し、4台体制で対応したい。
(市当局)

「かわまちづくり事業」の取組について

質問 事業の概要(支援制度)について

答弁 国土交通省の地域の河川を活かした賑わいのあるまちづくりを支援する制度で、市町村や地元住民、河川管理者の連携の下で立案された計画に基づき、まちと水辺が融合した良好な空間形成を図る事業である。
(市当局)

質問 「市場水辺の楽校」のような取組が加古川でも出来ないか。

答弁 展開出来るよう計画していきたい。
(市当局)

質問 市として、この事業に合わせ、災害時の水防災害活動拠点づくりを行う考えはないか。

答弁 現時点では、加古川改修促進期成同盟会の会長として、小野市以外のことも含め、広域的・戦略的に考えないといけない。
(市長)



改革クラブ
河島 三奈 議員

地域における防災力の強化について

質問 災害時における自治会としての要援護者対応について

答弁 平成21年度から災害時要援護者制度を開始し、現在約450名の登録がある。
情報は、自主防災組織を含む自治会や民生児童委員の方へ提供してき

たが、緊急時の初動対応の遅れや必要な情報が伝わらない等の課題があった。その対策強化のため、平成25年度から、新たに避難行動要支援者制度が開始され、平常時から自治会ごとの状況に応じて、見守りや支えあいを実施できるよう規定されており、現在名簿の作成に着手している。今後はこの名簿を基に自治会、民生児童委員に加え警察、消防などの機関と情報の共有を図り、災害時にも役立てるように支援を行う。

また、隣近所が助け合う「共助」の精神の構築に向け、地域の実情にあった「マイ防災マップ」の作成を27年度から各自治会へ呼びかけている。さらに、自主防災会リーダー研修会の開催や各小学校区持ち回りの住民参加型の地域教育防災訓練、自治会単位での多機能訓練も実施されており、市内全体に防災に対して意識の変化が見られるようになってきた。

今後画一的ではなく、各自治会に見合った取組ができるように支援をしていく。
(市当局)

子育て支援の更なる充実について

質問 更に踏み込んだ子育て支援について

答弁 本年4月に専属の助産師、利用者支援専門員を配置した「妊娠・子育てサポートセンター」を新設し、切れ目のない支援を目指している。
(市当局)



公明党
川名善三議員

食品ロス削減について

質問 市民や事業者への啓発について

答弁 「食品ロス」を削減することによって環境面や経済面でのメリットはある。市としては「食品ロス」の削減はごみの減量化、再資源化の推進につながり、市の廃棄物の処理経費削減にもつながるものであることから、今後も市内各種団体と連携し、機会を捉えて市民・事業者（飲食店）への啓発に努めたい。

（市当局）

新生児聴覚検査について

質問 小野市での受診状況について

答弁 当該検査は、先天性難聴の早期発見を目的に、おおむね生後3日以内に実施されるもので、本市では「新生児訪問」等の際に母子健康手帳により受診状況の確認を行っている。

平成27年度の受診率は89%で、未

受診であった乳児のほとんどは、当該検査を実施されていない産科医療機関で出産されている状況である。

（市当局）

質問 検査費用に対する助成について

答弁 当該検査を実施している医療機関の割合は、平成26年度の兵庫県調査結果では、県平均65・1%、北播磨地域では、さらに低く25%となっている。県では実施医療機関の増加を図るため、専門家会議の定期開催や医師会等への研修などを進めており、少しずつではあるが、実施予定医療機関が増えていると聞いている。

（市当局）

当該検査の重要性に基づき、国が市による公費助成の導入などを求めている現状、また検査体制の整備状況を踏まえ、市としても助成を考慮する。

（市長）



市民クラブ
小林千津子議員

防災・復興の取組について

質問 本年度の新規事業である「女性防災会議」の取組内容と小野市防災会議における女性の意見の反映について伺う。

答弁 昨年度改定した「はーと・シップラン」に、①男女共同参画視点の防災計画の促進、②男女が共に担う地域活動の促進を明記した。現在30自治会で女性の登用が進むなど、女性の声が届く仕組みも出来つつある。

そのような中、第1回の女性防災会議は、おのウイメンズ・チャレンジ塾生と地域から、30人超の女性出席の下「防災はつながる力」をテーマに提言をまとめ、防災・復興の取組等に反映させていく。

小野市防災会議については、女性の意見を反映するためにも、現行の定員を増員する等、女性委員の割合を高めることを検討する。（市当局）

介護者支援について

質問 介護する側の高齢化による「老老介護」が進み、近隣市でも痛ましい出来事があった。介護者を孤立させないための支援、取組について伺う。

答弁 本市の要介護認定者数は現在2,200人で、その内、認知症の方は約1,300人。老老介護やその他様々な要因により介護者が一人で悩み、心理的に孤立することが原因で深刻な事態へと発展する事例が全国で数多く報道されている。

このような介護疲れや孤立に至る事態を未然に防ぐため、介護保険サービスの利用をはじめとする公的な支援が必要であり、市では「絆カフェ」の利用推進や認知症初期集中支援チームの設置等に取り組んでいる。加えて、地域社会の中での孤立感を防ぐための地域の皆様の理解と支援が大切である。

（市当局）



平田 真実 議員

幼稚園の魅力アップについて

答弁 小学校と連携した百玉そろば
んによる数遊びや、ALTによる英
語遊び、鉛筆の正しい持ち方の指導
等、幼児教育から小学校教育への連
続性を図る。また、障害のある者と
ない者が共に学ぶインクルーシブ教
育にも力を入れ魅力アップに努める。
(市当局)

質問 給食回数の増加を希望する声
もあるが、どのように捉えているか
答弁 お弁当と給食の回数は教育の
一環としての狙いで、四歳児は週に
一回、五歳児は週に三回の給食提供
となっているが、過去に保護者から
の声もあり、給食回数の研究を進め
ている。具体的な時期は未定だが四
歳児の給食提供について、週二回に
増やすことを検討する。(市当局)

質問 女性の働き方が多様化してい
る中、四・五歳児幼児教育・保育料
の完全無料化に伴い、幼稚園に比べ
保育所の希望者が増えるのではとい
う懸念に対しての考えは。
答弁 保育所と幼稚園は本来目指す
べき道が違う施設である。その本質
を理解せず無料ならば保育時間の長
い保育所に預けたいと考える市民意
識の改革も必要である。(市長)

らんらんバス観光ルートについて

答弁 日曜日限定観光ルートの利用
者数は一便あたり約二人という分析
になり、費用対効果を鑑み当初の予
定どおり半年間の試行運行で事業を
終了する。今回の結果を踏まえ、観
光スポットを周遊しやすくするため
のダイヤ改正、観光スポットでのガ
イドボランティアによる案内システ
ム(事前申込制)等を今後反映させた
い。(市当局)



椎屋 邦隆 議員

新庁舎建設基本計画について

質問 市民の皆様知っていただく
良い機会なので、基本計画の概要に
ついて問う。
答弁 「広報おの」や市のHP、コ
ミセン等で周知してきた。基本コン
セプトは、郷土を愛する人達の
「夢」と「誇り」のランドマーク、
未来(ゆめ)のまち小野の創造拠点
とし、「市のシンボル」として、50
年、100年先を見据えた中核施設と位
置付けている。
シビックゾーンに、総事業費約50
億円をかけ、延べ床面積約10,0
00㎡の庁舎を、5階若しくは6階
建て建設する。免震構造を採用し、
平成32年度の業務開始を予定してい
る。(市当局)

質問 パブリックコメントについて
答弁 5月末迄の35日間、募集して
6名の方から15件のご意見を頂戴し

た。
内容は、災害対応にかかる設備の
充実、障がいをお持ちの方や高齢者
等社会的弱者に配慮した施設整備、
レストランを含む飲食施設の整備な
どである。(市当局)

**雨水貯留施設設置への助成に
ついて**

質問 近年頻発する集中豪雨や局地
的大雨に対し、兵庫県では、総合治
水条例を制定して対応している。雨
水貯留施設の整備促進の方針を受け
て本市の対応について問う。
答弁 助成を実施している他市の意
見では、住民の意識として、雨水の
流出抑制よりも雨水の再利用の意識
のほうが強いのではないかと聞いて
いる。
本来の目的である「治水対策」の
面で、その効果があまり期待できな
いこともあり、現時点で助成は考え
ていない。(市当局)



藤原 章 議員
(日本共産党)

住宅の耐震化について

質問 熊本地震を見て、改めて住宅の耐震化が重要だと感じた。耐震診断は無料にし、個人任せにせず、行政が主導して実施し、対策に生かすべきと思うが考えを伺う。

答弁 近隣では3市が無料だが、受診率は小野市より低い。無料化で受診数が増えるとは限らないことや、市民の皆様には「自分の命は自分で守る」という意識を持っていただきたいことから個人の負担も必要と考えている。
(市当局)

質問 耐震化に対する助成はどのようなものがあるのか伺う。

答弁 県・市の制度として耐震診断の補助、改修計画策定補助、改修工事費補助(市が上乘せ)の他、簡易耐震改修補助、屋根軽量化工事補助、シェルター型工事補助、防災ベッド設置補助などがある。
(市当局)

「小野長寿の郷」及び工業団地周辺の開発について

質問 新産業団地の排水は山田川と広島川に流れるが、水量等下流部の安全は確保されているのか伺う。

答弁 排水計画等はこれから検討する。下流部の安全を第一に考えて計画策定を行う。
(市当局)

質問 三木市大型集客施設の小野市商業者への影響をどう考えるか。

答弁 あまり大きな影響はないと考えているが検討したい。
(市当局)

光ケーブルの敷設について

質問 光ケーブルは重要なインフラだが、市内の敷設状況を伺う。

答弁 下東条地区の一部や離れた少数の住家には届いていない。
(市当局)

質問 敷設を要請して欲しい。

答弁 市は今年度中に市内小・中学校のネットワーク再構築に取り組みるので、併せて要請したい。
(市当局)

防衛施設周辺整備事業について

質問 防衛省関係予算のこれまでの活用状況と効果について

答弁 実施してきた主な事業は、河合北部の、ため池改修工事、ほ場整備、排水路整備のほか、河合運動広場整備、八ヶ池自然公園、陶遊館アールテなど河合地区の環境整備等である。

過去40年間で事業費は約100億円以上、そのうち約80億円の国庫補助を頂いており、背景には、防衛省、青野原駐屯地と市が連携協力して、事業を進めてきたことが大きな要因としてある。これらの事業効果は計り知れないと考えている。
(市当局)

「浄谷黒川丘陵地多目的運動広場の整備」について

質問 スポーツ大会やイベント等の誘致について



河島 信行 議員

答弁 青野原演習場等周辺屋外運動場設置助成事業として建設中の陸上競技場については、市民が楽しくラニンングやサッカーなどのスポーツをする多目的運動広場とし、災害時には、避難場所や支援活動拠点にもなる予定である。大会規模としては、市内の小学生陸上競技大会、中学校総合体育大会、サッカー大会の開催を考えている。
(市当局)

小野市の公共交通政策について

質問 神戸電鉄粟生線の活性化に向けた沿線自治体の首長等をメンバーとする「経営戦略会議」の進捗状況について

答弁 活性化協議会会長の三木市長から、戦略会議の立ち上げについては、粟生線の将来像や支援フレームを事務レベルで整理することなど、もうしばらく時間が必要との見解が示されており、現在開催されていない。
(市当局)

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案について、各常任委員会に審査を付託された議案及び審査結果は次のとおりです。

《各常任委員会に付託された議案》

◎ 総務文教常任委員会◎

議案第36号

平成28年度小野市一般会計補正予算（第1号）

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



◎ 民生地域常任委員会◎

議案第36号

平成28年度小野市一般会計補正予算（第1号）

議案第37号

平成28年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



常任委員会研修会を開催しました

市議会では、議員の資質及び議会としての監視機能の向上を目指すため、常任委員会等の研修に継続して取り組んでいます。

今回は、7月に実施する各常任委員会の行政視察の事前研修として、市関係部局の担当職員から市の各施策の現状等について説明及び質疑を行い、理解を深めました。

《総務文教常任委員会》

- 1 開催日 6月24日（金）
- 2 研修事項
・小野市の交通政策について

《民生地域常任委員会》

- 1 開催日 7月7日（木）
- 2 研修事項
・小野市の「運動・栄養」と「健康」について
・～小野市で産んで育てたい～
安心して子育てできる支援について



総務文教常任委員会行政視察報告

平成28年7月13日(水)～7月15日(金)

① 長野県飯田市

広域行政について(ゴミ処理施設整備事業)

飯田市を中心とする南信州広域連合において、平成29年12月竣工を予定している広域ゴミ処理施設の視察を行った。単にゴミ処理施設としてではなく、環境公園として位置づけ、災害時の避難場所、発電、コミュニティーの場として地域活性化にも寄与する計画である。広域連合1市3町10村による効率的かつ経済的な処理施設、そして安全安心を確保する施設として各地域より誘致希望を募り、4地域の立候補があり、飯田市下久堅稲葉に決定した。また、設置地域との協定書の取り交わしにより、地域の活性化が図られようとしている。



② 岐阜県岐阜市

新バス交通システム(岐阜市型BRT)推進事業について



BRT (Bus rapid transit) とは、連結バス等を基盤としてカラー舗装等された専用レーンを走行し、大量輸送するシステムである。このBRTに岐阜市は取り組み、路面電車が廃止された後の公共交通を確保し、だれもが自由に移動できる交通環境社会の実現に取り組んでいる。また、市民協働の手づくりコミュニティバスを市内19地区で実践している。この手づくりバスは、路線、料金、バス停等を市民自らが企画し、高齢者密度による補助金と乗車料金で運営されている。より身近な交通機関を地域住民自らが知恵と工夫を凝らして枝路線を確保し、BRTとの連結で公共交通を支えている。

③ 三重県四日市市

あすなろう鉄道の上下分離方式について

内部線と八王子線は、5つの学校で点在する路線で、近鉄が年間360万人の輸送を行っていた。しかし、割引率が高く(80.7%割引)、年間3億円の赤字路線であり、加えて特殊な車両(狭線)であるため車両の更新等が困難となり、存続の危機に至った。近鉄の考えはBRTを推奨、市は鉄軌道の存続となり、協議の結果「鉄路は必要不可欠である」と判断し公有民営方式による定期公共鉄道「四日市あすなろう鉄道株式会社」が誕生した。市が設備等を負担し運営面を近鉄に任せ、駅舎の清掃等は市民が主体的に行い、市民自らの交通手段を確保した。



あすなろう鉄道(明日に向かって)+ナローゲージ・線路幅762ミリ)

◎ 議会の動き ◎

【5月】

- 2日 議員研修会
- 3日 かわいの大運動会
- 6日 文化連盟総会
- 9日 会派代表者会
〃 議員互助会役員会
- 10日 臨時本会議
〃 会派代表者会
- 12日 小野市人権教育研究協議会総会
- 13日 地方行政課題研究会
- 14日 特別支援学校運動会
- 16日 行政視察来市(鹿児島県伊佐市)
- 17日 北播政経懇話会(加西市)
〃 商店街振興組合・連合会総会
- 19日 新庁舎建設特別委員会行政視察(加東市)
- 21日 小学校運動会
〃 小野警察署友の会設立総会
- 22日 小野市更生保護女性会総会
- 23日 議会運営委員会
〃 市議会報編集委員会
〃 議員互助会役員会
- 24日 新庁舎建設特別委員会行政視察(太子町・南あわじ市)
- 25日 ひまわり会総会
- 26日 行政視察来市(宮城県登米市)
- 27日 小野市農会長会総会
- 28日 小野市シルバー人材センター定期総会
〃 小野市保健衛生推進協議会総会
- 30日 6月定例会(第1日)
- 31日 全国市議会議長会定期総会

【6月】

- 1日 小野市観光協会総会
- 2日 行政視察来市(新潟県五泉市)
- 4日 小野市詩歌文学賞・小野市短歌フォーラム
- 8日 新庁舎建設特別委員会
- 18日 小野市女性団体連絡協議会総会
- 19日 小野市消防団消防操法大会

- 21日 6月定例会(第2日)
〃 議会運営委員会
- 22日 6月定例会(第3日)
- 23日 小野市防犯協会総会
- 24日 総務文教常任委員会
〃 総務文教常任委員会研修会
〃 民生地域常任委員会
- 25日 小野市防衛協会通常総会
- 27日 6月定例会(第4日)
〃 議員研修会
- 30日 小野市都市計画審議会
〃 北播政経懇話会(西脇市)

【7月】

- 4日 北播磨総合医療センター企業団議会議員総会
〃 小野市産業フェスティバル2016実行委員会
- 5日 行政視察来市(福島県本宮市)
- 7日 東播磨南北道路建設促進期成同盟会・加古川改修促進期成同盟会総会
〃 民生地域常任委員会研修会
- 8日 北播衛生事務組合議会議員協議会・議会(加東市)
- 9日 粟田橋完成式典
- 10日 北播磨地区消防操法大会
- 12日 東播・淡路市議会議長会定例会(加東市)
- 13日～15日 総務文教常任委員会行政視察(飯田市・岐阜市・四日市市)
- 19日～21日 民生地域常任委員会行政視察(五泉市・新発田市・柏崎市)
- 20日 行政視察来市(広島県府中市)
〃 交通安全対策委員会総会
- 21日 兵庫縣市議会議長会総会(赤穂市)
〃 行政視察来市(山形県鶴岡市)
- 22日 市議会報編集委員会
〃 北播政経懇話会(加東市)
- 25日～26日 議会運営委員会行政視察(半田市・長浜市)
- 27日 国民健康保険運営協議会
〃 姉妹都市親善訪問団受け入れ事業歓迎会
- 28日 行政視察来市(長崎県松浦市)
- 31日 ひまわり杯少年野球大会

議会の傍聴にお越しください

● 9月定例会 ●

9月 1日(木) 午前10時～
本会議(第1日)

9月 21日(水) 午前10時～
本会議(第2日) ※一般質問実施

9月 23日(金) 午前10時～
本会議(第3日) ※一般質問実施

9月 29日(木) 午後1時30分～
本会議(第4日)

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

◀お申し込み先▶ 議会事務局
TEL 63-1006 (直通)
FAX 63-4108
E-mail gikai@city.ono.hyogo.jp

◀「託児コーナー」を開設▶

一般質問が行われる9月21日(水)、23日(金)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、9月12日(月)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)

◀「手話通訳」・「要約筆記」を導入▶



9月定例会から、傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望される方は、希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



◀傍聴者の休憩室を開設します▶

一般質問が行われる21日(水)と23日(金)の2日間は、休憩室を開設しています。セルフサービスのお茶も用意しています。

◀自宅に居ながら議会の傍聴▶

市議会LIVE中継実施中 スマホ・タブレットでも視聴可

LIVE市議会中継 小野市議会 検索